

女性兵士が 問いかける地平

エチオピア、ルワンダ、ソ連、ウクライナの事例から

女性は兵士として、世界各地における国家間の戦争や国内で発生した内戦に動員され、志願してきました。女性たちはどのような経緯で戦争に加わり、そこで何を期待され、何を考えてきたのでしょうか。女性兵士がかかわった戦争の性格は多様であり、その在り方や意義はそれぞれの戦争と社会的背景を考慮して解釈される必要があります。本シンポジウムでは、エチオピア、ルワンダ、ソ連、ウクライナの女性兵士の経験を検討することで、女性兵士を取り巻く社会や国家、軍隊の在り方を検討し、女性が兵士として戦争に参加することの意味を考察します。

2023
4/15 SATURDAY

14:00 - 17:30

対面受付開始 13:30

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス

学術交流会館

参加費無料

橋本信子 大阪経済大学

女性が兵士になるとき
—ソ連、ウクライナの事例

眞城百華 上智大学

エチオピア・ティグライにおける女性兵士の経験
—戦時下の女性解放と戦後への架橋

近藤有希子 京都大学

彼女たちの戦線
—ルワンダ丘陵をめぐる危機的日常と女性兵士という選択

内藤葉子 大阪公立大学
趣旨説明

秋林こずえ 同志社大学
コメント

対面とオンラインのハイブリッド開催 (Zoom利用)

定員 (先着順): 対面 80名 (定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます)

申込方法: 対面参加、オンライン参加希望者ともに、女性学研究センターWEBサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

申込締切: 2023年4月12日(水) 17時まで

お問合せ先: 女性学研究センター(日本ナイル・エチオピア学会員の方は、学会にお問い合わせください。)

Zoomのアドレスを4月13日(木)にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、4月14日(金) 16時までに女性学研究センター(www.omu.ac.jp/sss/cws/)にご連絡ください。

アクセスマップ: <https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

コーディネーター: 宮脇幸生(大阪公立大学)、内藤葉子(大阪公立大学)

共催: 大阪公立大学女性学研究センター 日本ナイル・エチオピア学会

